



バイエル薬品株式会社

〒530-0001
大阪市北区梅田 2-4-9
TEL 06-6133-7333
www.bayer.co.jp/byl

News Release

受講生のアンケート調査結果から「自分の体を大切にし、健康管理を心がけようと思う」と意識・行動に変化

バイエル薬品、女性の健康教育に関する講師派遣授業「かがやきスクール」 2016 年度実施校募集のご案内

- 募集期間: 2016 年 2 月 19 日(金) ~ 3 月 31 日(木)
- 実施期間: 2016 年 5 月 ~ 2017 年 3 月
- 授業内容: 女性の体とホルモン、女性の健康とライフイベント、月経トラブルと対処法、婦人科疾患、正しい避妊法、妊娠適齢期など

大阪、2016 年 2 月 22 日 — バイエル薬品株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:カーステン・ブルン、以下バイエル薬品)は、女性の健康と活躍を支援する環境づくりに寄与することを目的として女性の健康教育に関する講師派遣授業「かがやきスクール」を 2015 年より開催しています。開講 2 年目となる本年度は、5 月中旬より全国約 30 カ所の高等学校で行うこととなりました。つきましては 2016 年度の実施に先立ち「かがやきスクール」の開講を希望する高等学校を 2 月 19 日(金)~3 月 31 日(木)まで、全国から募集いたします(別添資料 1 参照)。

2014 年の試行開始から 2016 年 3 月までに全国 13 都道府県、計 28 校に訪問する予定で、全受講生は約 7,500 名となる見込みです。2015 年度 1 学期に「かがやきスクール」を開催した実施校の受講生 約 2,200 名を対象とした受講前のアンケート結果では、月経異常や月経困難症の中に子宮内膜症などの婦人科疾患が隠れていることへの理解は受講生全体の約 15%と低く、また月経痛や過多月経、無月経など、思春期にも多くみられる月経異常について病院で治療できることを知っていた生徒は約 39%にとどまりました。



奈良女子高等学校 授業風景
2015 年 6 月



受講後のアンケート結果からは、受講した女子生徒の約 6 割が、「月経にともなうつらい症状」や「月経のため、勉強や作業の能率が下がること」を経験していたことがわかりました。また婦人科疾患や月経トラブルへの理解

は受講生全体の9割を超えましたが、受講3か月後には理解度は低下していました。一方で、「自分自身やパートナーの体を大切にし、健康管理を心がけようと思うかどうか」と尋ねたところ、受講3か月後も約92%の生徒が「そう思う」と回答していました。これらの調査結果から婦人科医からの教育機会を提供することによって、女性自身やパートナーの体を大切にしようという意識の高まりが維持された一方で、時間の経過とともに婦人科疾患や月経トラブルへの理解は低下していることがわかり、継続した健康教育の重要性も示唆されています(別添資料2参照)。

女性の一生においてキャリア形成期と結婚・出産・育児などのライフイベントが重なっており、女性自身が望む人生設計やキャリアプランを実現するためには、女性特有の病気やライフステージの変化について正しく理解することが大切です。女性の健康に関する講師派遣授業「かがやきスクール」を通じて、次代を担う高校生の皆さんが女性の健康に関する正しい知識を身につける機会となることを願っています。

バイエル薬品は、今後も女性の健康と活躍を支援する環境づくりに寄与するためのさまざまな取り組みを行ってまいります。

バイエル ホールディング株式会社

2016年2月22日、大阪

Bayer Holding Ltd./Communications

バイエルについて

Bayer: Science For A Better Life

バイエルは、ヘルスケアと農業関連のライフサイエンス領域を中核事業とするグローバル企業です。「Science For A Better Life」というミッションのもと、バイエルはその製品とサービスを通じて、人々のクオリティ・オブ・ライフ(QOL)の向上に貢献すると同時に、技術革新、成長、およびより高い収益力を通して企業価値を創造することも目指しています。また、バイエルは、持続可能な発展に対して、そして良き企業市民として社会と倫理の双方で責任を果たすために、これからも努力を続けます。グループ全体の売上高は422億ユーロ、従業員数は119,000名(2014年)。設備投資額は25億ユーロ、研究開発費は36億ユーロです。この数字は、コベストロ社として株式市場に2015年10月6日に上場した高機能ポリマー材料の事業を含んでいます。詳細は www.bayer.com をご参照ください。

バイエル薬品株式会社について

バイエル薬品株式会社は本社を大阪に置き、医療用医薬品、コンシューマーヘルス、動物用医薬品の各事業からなるヘルスケア企業です。医療用医薬品部門では、循環器領域、腫瘍・血液領域、ウイメンズヘルスケア領域、眼科領域、画像診断領域に注力しています。コンシューマーヘルス部門では解熱鎮痛薬「バイエルアスピリン」をはじめ、アレルギー性疾患治療剤や皮膚科領域に注力しています。動物用医薬品事業部は、動物用医薬品の提供を中心にコンパニオンアニマルおよび畜産動物のヘルスケアに貢献しています。同社は、「Science For A Better Life」というミッションのもと、技術革新と革新的な製品によって、日本の患者さんの「満たされない願い」に応える先進医薬品企業を目指しています。詳細は www.bayer.co.jp/byl をご参照ください。

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルグループもしくは各事業グループの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれています。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 (www.bayer.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。

【女性の健康教育に関する講師派遣授業『かがやきスクール』の募集要項】

募集概要: 女性の健康教育に関する講師派遣授業「かがやきスクール」は、各地域の婦人科医の先生を学校に派遣して実施させていただくものです。次代を担う高校生の皆さんが今後ますますかがやき、活躍できるよう女性の健康に関する正しい知識を身につけていただくことを目的としています。開講を希望する高等学校を全国から募集します。

募集対象: 全国の高等学校 1年～3年生

参加単位: 学年またはクラス単位

授業場所: 対象者全員を収容できる場所(実施校の体育館、会議室など)

実施期間: 2016年5月～2017年3月

※講師との調整がついた順にご案内させていただきます。

テーマ: 大人になるまでに知っておきたい女性のカラダと健康のこと

講師: 本企画に賛同いただいた産婦人科医

授業時間: 1～2コマ、50～100分(相談可)

授業内容: 健康教育授業と事前・事後のアンケート調査による振り返りを行う。

1. 産婦人科専門医からの女性の健康に関する出張授業の実施
 - 女性のカラダとホルモン、月経トラブルとその対処法
 - 子宮の病気、女性のがんなど女性特有の病気
 - 産みたいときに産むための正しい避妊
 - ライフプランニングに影響する女性の健康とライフイベント
 - 健康で活躍するために婦人科のパートナードクターを持つ
2. 受講前、受講後、3カ月後に女性の健康に関するアンケート調査を実施
※女性特有の疾患に触れますが、男子生徒にも受講いただけます。

参加費: 無料(講師派遣費、教材費などは一切かかりません)

後援: 全国高等学校長協会、全国商業高等学校長協会、全国養護教諭連絡協議会
全国高等学校長協会家庭部会

主催: バイエル薬品株式会社

応募方法: まずはお電話/FAX/メールにてお問い合わせください。

運営事務局(株式会社プラスエム内)

TEL 03-6222-5250, Fax:03-6222-4823, Email: kagayaki@plus-m.co.jp

募集期間: 2016年2月19日(金)～2017年3月31日(木)

発表: 申し込み多数の場合抽選を行い、事務局より抽選の結果をご連絡いたします。

別添資料 2



女性の健康に関する意識・実態調査概要と調査結果は次のとおりです。

【女性の健康に関する意識・実態調査概要】

対象施設： 2015年度1学期に「かがやきスクール」を開催した以下の7校(開催順)

- セントヨゼフ女子学園高等学校(三重県)
- 県立千葉北高等学校(千葉県)
- 奈良女子高等学校(奈良県)
- 堀越高等学校(東京都)
- 県立川越総合高等学校(埼玉県)
- 都立第一商業高等学校(東京都)
- 神戸龍谷高等学校(兵庫県)

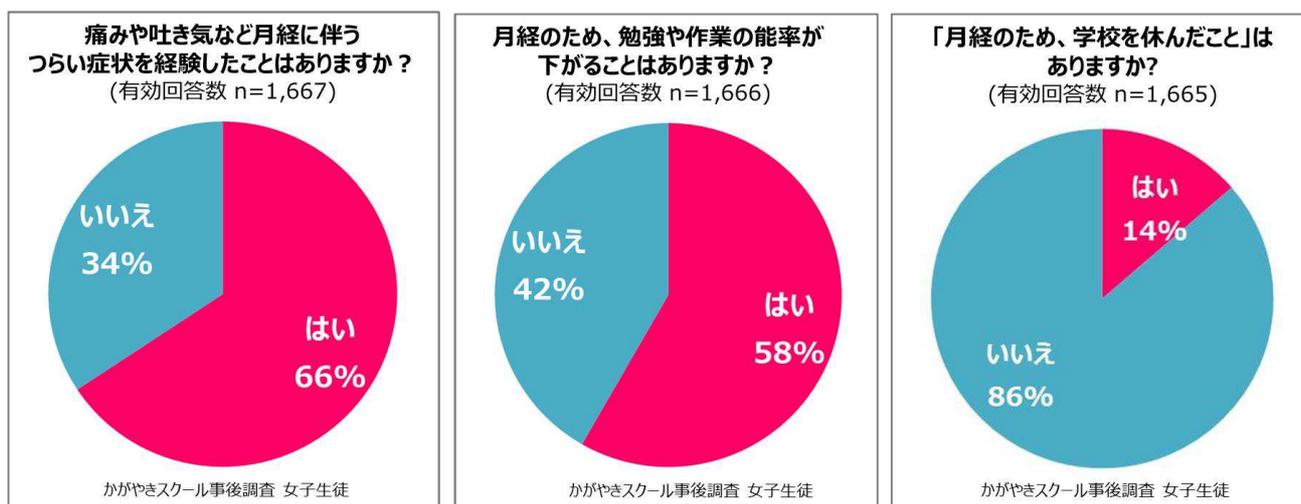
対象： 上記に在学中であり、「かがやきスクール」を受講した生徒(1年～3年生/男女共)

調査方法： 自記入式アンケート調査(受講前、受講後、3カ月後におけるアンケート調査の実施)

サンプル数： 事前調査 2,289名、事後調査 2,127名、3か月後 2,132名

① 女子高校生の月経トラブルの実態について：事後調査(受講日)

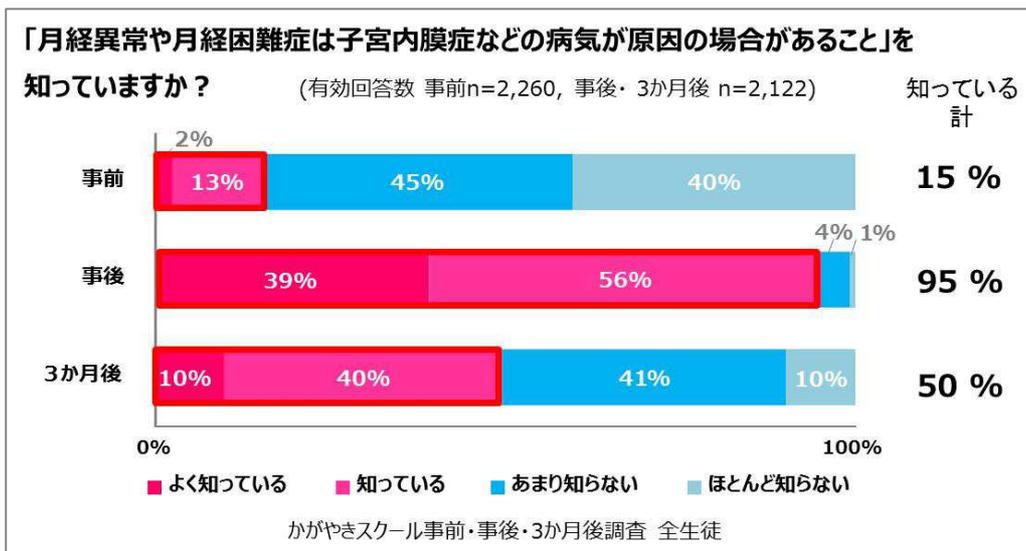
- 「月経にともなうつらい症状」や「月経のため、勉強や作業の能率が下がること」を経験している女子生徒は、それぞれ66%、58%と半数以上の女子生徒が月経トラブルのため学業や日常生活へ影響をきたしていることがわかりました。さらに「月経のため、学校を休んだこと」があると14%の女子生徒が回答しており、重い月経随伴症状*を伴っている生徒が存在することが懸念される結果となりました。



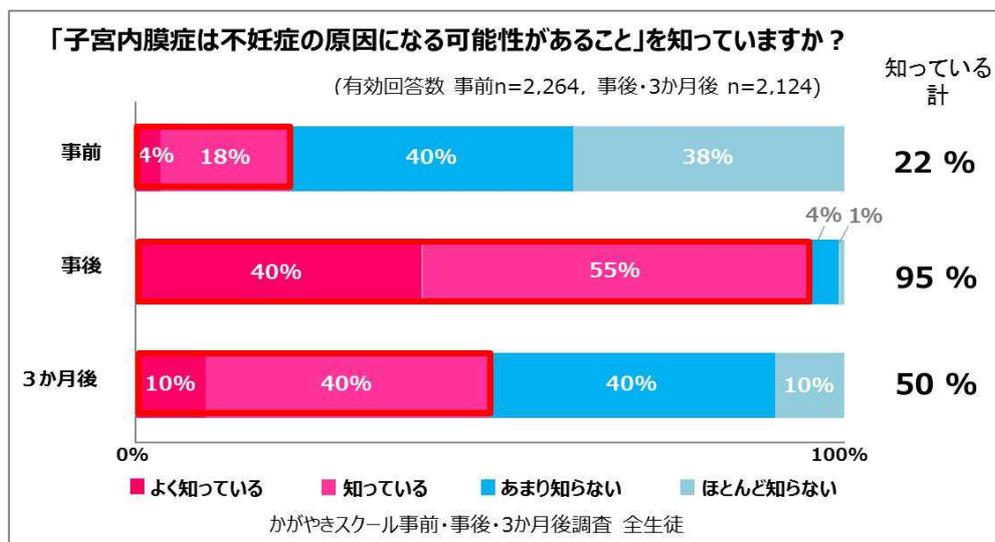
* 月経随伴症状:月経前や月経中の不快な症状の総称。下腹部痛、腰痛をはじめ、乳房がはる、眠くなる、イライラする、倦怠感、下痢、便秘など、人によって、さまざまな症状があります。

② 女性特有の病気に関する認識：事前・事後調査（受講前/受講後/3か月後）

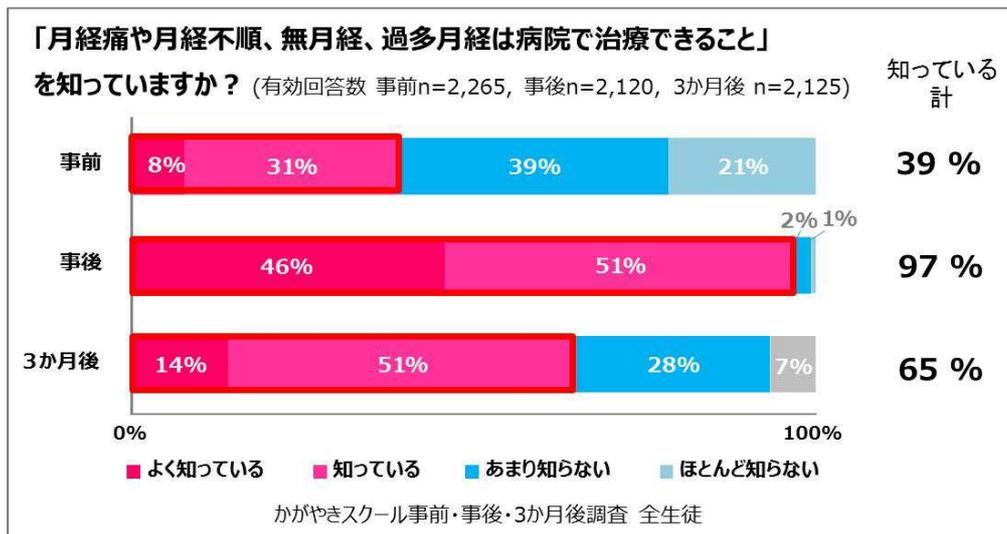
- 「月経異常や月経困難症は子宮内膜症などの病気が原因の場合がある」ことを知っているかどうかを尋ねたところ、「よく知っている」「知っている」と答えた生徒は、受講前 15%、受講後 95%、受講 3か月後 50%でした。



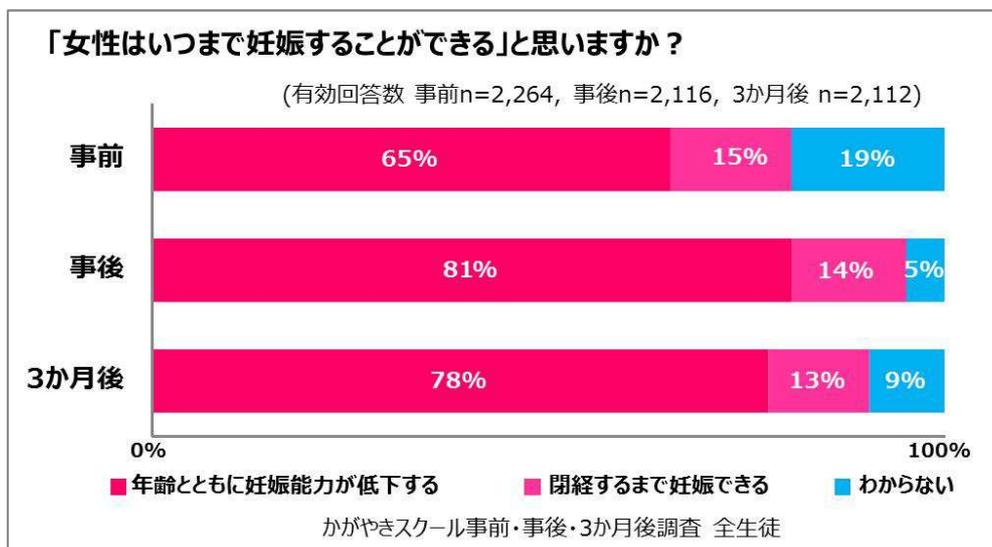
- 「子宮内膜症は不妊の原因になる可能性があること」を知っているかどうかを尋ねたところ、「よく知っている」「知っている」と答えた生徒は、受講前 22%、受講後 95%、受講 3か月後 50%でした。また婦人科疾患や月経トラブルへの理解は受講生全体の 9 割を超えましたが、受講 3か月後には理解度は約 5 割に低下していました。時間の経過とともに婦人科疾患や月経トラブルへの理解は低下していることがわかり、継続した健康教育の重要性も示唆される結果となりました。



- 月経痛や過多月経、無月経など、思春期にも多くみられる月経異常について病院で治療できることを知っていた生徒は、受講前 39%、受講後 97%、受講 3 か月後 65%でした。

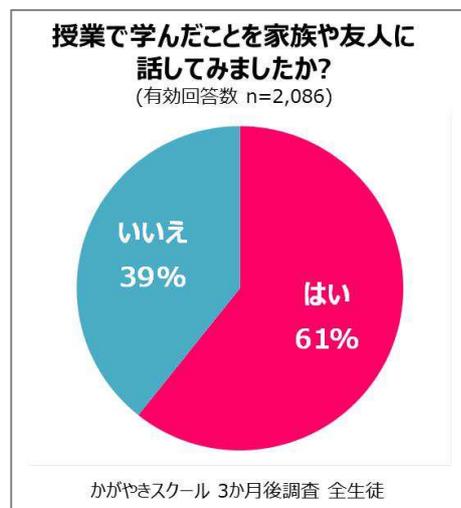
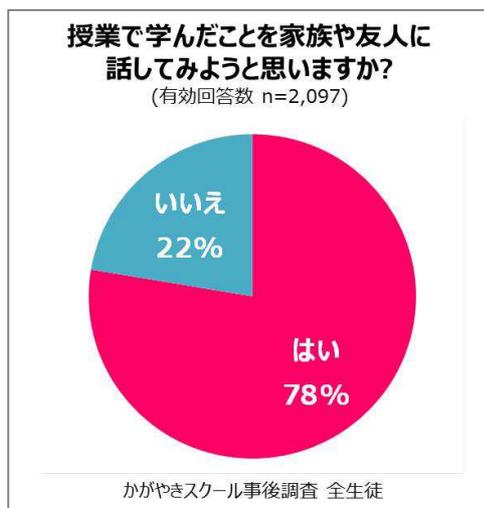


- 「年齢とともに妊娠能力が低下する」と知っている生徒は、受講前 65%、受講後 81%、受講 3 か月後 78%でした。受講 3 か月後も理解度は維持されていました。

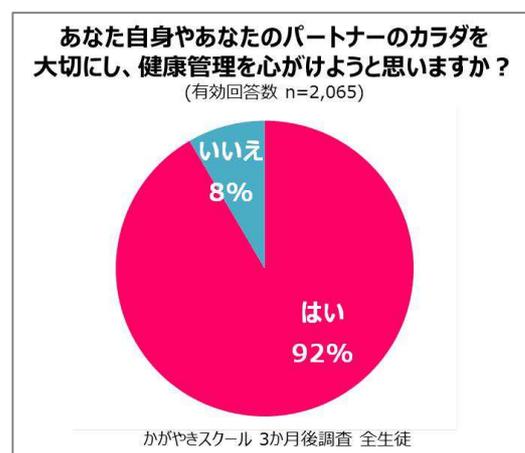


③ 受講生徒の意識・行動への変化

- 「授業で学んだことを家族や友人に話してみよう」と思う生徒は受講後 78%であり、受講 3 か月後の調査で 61%の生徒が実際に家族や友人と話していたことがわかりました。



- 「自身やパートナーの体を大切にし、健康管理を心がけようと思う」生徒は、受講 3 か月後でも 92%にものぼりました。婦人科医からの教育機会を提供することによって、女性自身やパートナーの体を大切にしようという意識の高まりが維持されており、実際に身近な家族や友人と話し合う機会が生まれています。



- 受講後の感想としては、「将来の子どものためにも自分の体をもっとよく理解したい」、「月経について理解ができていると思っていたが、自分がどれだけ理解できていなかったかわかった」、「婦人科医に相談できるとわかってよかった」などの声が寄せられました。また共に受講した男子生徒からも「パートナーを大切にし、自分の体を大切にしようと思った」、「女性は毎月とても大変なことが分かったので、いたわらなければいけないと思った」など、異なる性について尊重しパートナーとして大切に思う気持ちが寄せられています。

【「かがやきスクール」授業風景】



<奈良女子高等学校（奈良）>



<セントヨゼフ女子学園高等学校（三重）>

【「かがやきスクール」ロゴマーク】

